

第3回 小田切夏まつり 8月11日開催

昨年続く中学校グラウンドで開催した小田切夏まつり、約160名が参加しました。今年もキッチンカーの出店が並び、多彩な4台がそれぞれ賑わっていました。

盆踊りは、「小田切の里」や定番曲でやぐらを囲み太鼓に合わせ踊りの輪ができていました。一方、踊りの合間には翔和学園のゲームコーナーが賑わっており、初めてのビンゴ大会は全員参加で盛り上がり、キッチンカーとともに夏まつりを盛り上げました。

今年は打ち上げ花火がありました。開幕に合わせた花火に加え、フィナーレには会場の真上に上がった十数発が小田切の夜空に輝き見応えがありました。



ビンゴ大会



小田切地区土砂災害対応防災訓練

日時 令和5年9月30日(土)
午前8時30分～11時15分
場所 小田切支所周辺(主会場は小田切運動場)
主催 長野市、小田切住自協

第4回 小田切地区社会福祉大会

誰もが自分らしく、そして共に支え合える地域づくり
日時 令和5年10月27日(金)
午後1時50分～4時15分
場所 小田切交流センター体育館

小田切八景切り絵展 長野県立美術館 7月6日～11日

長野県立美術館地下「しなのギャラリーA」で「小田切八景切り絵展」を開催しました。入場者は198名で、期間中本館展示室では北斎展が開催されており、この会場にも海外や全国から多くの方の入場がありました。

小田切地区紹介パネルや風景写真30点も展示し、全員に小田切案内マップを渡し、訪れてもらうきっかけとしました。同時開催の同好会「小田切ちぎり絵の会」のちぎり絵展も興味深く見る人も多く好評でした。



余剰野菜の有効活用 福祉事業所と連携

家庭菜園で余った野菜は、畑等に放置されることが多く有効活用できないかと「和輪話の会」で話題となり、地域包括ケア推進課と相談する中で、2福祉事業所「空風」と「エコーンファミリー」で活用してもらう事にしました。いきいきサロンやかがやき広場の講座へ参加する時に持ってきてもらい、福祉事業所がパン等の販売に来る時持ち帰り、事業所内食堂や調理食材、子ども食堂などで活用してもらいます。

基本は毎月第3水曜日のいきいきサロンと毎週火・木曜日の講座の時ですが、住自協では随時受け付けますので、都合のいい時に窓口まで。



山里整備隊活動

山里整備隊は、中学校グラウンド整備を中心に活動しています。まず5月24日に1回目の草刈りを行い、マ



レットゴルフも試しましたが、草丈が不揃いでコース整備が必要でした。小田切夏まつりに向けて8月4日に草刈り、9日に枯草焼却を含め最終整備し、やぐら設置も行い夏まつり会場を整えました。

今後は近隣の景観整備等を計画しています。

巡礼桜 枝折れ被害

市天然記念物の巡礼桜が8月17日午後、強風雨により枝折れし、状況から腐朽菌に侵された枝が強風で折れたと思われます。樹木医診断により今後の対応をしていきます。



令和5年度 支所発地域力向上支援金事業

5団体より5件の応募があり、5月26日と7月12日の2回の選考委員会にて審議の結果、2件への支援が決まりました。支援金額は357千円です。

1

「国見のイチイ保存会」 ～国見のイチイ剪定事業～

酒井 久吉 総代 支援額 154千円 (要望額154千円)

イチイ上部に枯れが目立ち樹勢回復に努めているが、下方の枝が垂れ全体の樹形を崩しており、専門業者に剪定を依頼しバランスを整えると共に樹勢回復を図りたい。

2

「NPO法人 小田切オアシス」 ～アマラビ・野沢菜で知名度アップと地域交流事業～

酒井 昌之 代表 支援額 203千円 (要望額203千円)

野沢菜採りやわらび狩りで小田切の知名度アップに努めている。ツアー実施に伴いのぼり旗やパネルを作成し、会場の明確化と道路沿いの道案内とし、一層の賑わいを創出したい。

いきいきサロン 「ふきのとうの会」

小田切いきいきサロンは、5年度10回の開催計画で活動しています。厳冬期を除く毎月、主に第3水曜日に開催し、会員は20名で毎回15名程が参加しています。活動は健康講座が中心で8月は食生活からの認知症予防でした。毎回「空風」によるパン販売があり、みなさんの楽しみでもあり好評です。



カラオケサークル 「そよ風」

小田切ふれあい交流ひろばで毎月第3木曜日に活動している「そよ風」は、発足から10年程経ち、10名の会員は今で



は80代が中心となり、時には昼食をはさんで歌う日もあります。コロナ下で小田切文化芸能祭の演芸部門の中止が続いており、発表の機会が無いのが残念です。多くの方の参加をお待ちしています。

三輪地区地域間交流 わらび狩りとスマイルポーリング大会

三輪地区との交流事業は、5月13日にわらび狩りを行い三輪地区から18名が参加し、信濃三十三番札所の西明寺を巡った後、わらび狩りと昼食交流会で親睦を深めました。



6月25日には三輪小体育館で「三輪地区スマイルポーリング大会」に、小田切から住自協と交流センターで2チームを編成、各チーム8名で16名が出場し交流を図りました。

長沼水害復興支援プロジェクト わらび狩り招待と枝豆贈呈

長沼水害復興支援プロジェクトは、5月21日に長沼小学校児童をわらび狩りに招待し、長沼から4～6年生の児童8名を含む26名が参加しました。その後、長沼支援農場で8月に贈る枝豆の播種体験もしました。



枝豆の贈呈は8月14日早朝に収穫し、そのまま軽トラ3台に積み長沼支所に向かい、長沼住自協に贈呈し今年も大変好評でした。

「ひとり暮らし高齢者の集い」 4年ぶりに開催

新型コロナ下、3年間中止が続きようやく開催できました。7月21日に錬成センターを会場に講話と昼食会で楽しい時間が過ごせました。今年の対象者は68名で14名が参加しました。講話は西山民児協会長の「おひとりさまあんしんサポート相談室」についてと県警の特殊詐欺注意喚起と交通安全指導でした。



おひとりさまあんしんサポート相談室についてと県警の特殊詐欺注意喚起と交通安全指導でした。

小田切ダム発電所 水力発電機リニューアル工事中

昭和29年8月竣工の小田切ダム発電所は、令和4年12月より発電を全面停止して大規模改造工事を行っています。2基の水車と発電機取替、変圧器他取替、放水路改良などで7年5月の完成計画です。



工事中の発電装置



千木の道祖神大杉
市文化財課調査



6/7

小田切地区人権教育促進協議会総会

6/14



安茂里分署「小田切地区地域防災力向上研修」

6/18



第73回社会を明るくする運動 街頭活動

7/3



夏まつり準備

8/11



保健補導員会研修

9/1



ながの環境エネルギーセンター視察

やまびこ

川後線のバス運行見直しが始まった。昭和31年5月に初めて小田切中央までバスが来て、あの排気ガスの臭いが何となく都会になったような気がした。あれから67年、車社会と人口減が利用者減少の主な要因とはいえ、高齢者の運転免許返納が言われる中、福祉自動車の利用に加え、「かつら号」に頼っても、南北両方に生活圏がありもうちょっとで街中なだけに乗り換えが気になるころ。